



令和5年度 「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」における視察調査  
実施報告書

宮城県立金成支援学校

<p>視察先</p>	<p>岐阜県立大垣特別支援学校</p>
<p>視察日程</p>	<p>令和5年 7月31日(月)</p>
<p>視察内容</p>	<p>○岐阜県立大垣特別支援学校について</p> <p>大垣特別支援学校は県内で一番大きな支援学校である。児童生徒は2市6町から通学している。障害種は知的・肢体・病弱と幅広い実態の児童生徒が在籍している。重度重複障がい児童生徒から大学への進学を目指している生徒も在籍している。そのため、教師の専門性の向上が課題とされている。また、地域の地震発生時の第2避難場所に指定されており、定期的に地域との意見交換を行っている。</p>  <p style="text-align: center;">岐阜県立大垣特別支援学校</p> <p>○防災に関する取組の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度防災チャレンジプラン防災教育大賞</li> <li>・令和2年度岐阜県学校安全優良校表彰</li> <li>・清流の国ぎふ防災・減災センター 第4回防災活動対象 等</li> </ul>  <p style="text-align: right;">清流の国ぎふ防災・減災センター 第4回 防災活動大賞 活動内容</p>

○活動内容

(1) VR・AR を活用した防災教育

- ・ AR 技術を用いた豪雨体験
- ・ VR 技術を活用し、地震や浸水発生時の疑似体験



ICT 教材 (AR ゴーグル、天球カメラ、iPhone SE)



天球カメラによる模擬体験



AR ゴーグルを使った災害疑似体験

(2) スクール防災リーダー

- ・ 生徒会役員を中心とした防災の啓発活動
- ・ 防災ポスターコンクールや校内 DIG を実施

(3) 家庭と一緒に取り組む活動

- ・ 災害伝言ダイヤルの活用  
災害伝言ダイヤルクイズの実施や児童生徒が実際に災害ダイヤルに伝言を録音し、保護者に聞いてもらう練習を実施
- ・ 備蓄確認月間に行う備蓄品チェック
- ・ 減災力テストの実施

(4) 地域との連携

- ・ 学校で行う防災教育見学
- ・ 避難所運営協議会の実施
- ・ 共生社会を目指すフレンズクラブの創設

元々は地域と連携した取組があまり見られなかったが、松原校長先生を中心に徐々に地域との輪を広げている。

本校の防災教育に  
役立つ具体案

- ・ AR・VR を活用した活動やスクールリーダーの選出など児童生徒が主体的に取り組める活動内容
- ・ 家庭と一緒に取り組む活動
- ・ 地域との定期的な意見交換等
- ・ 学校外への情報発信